

四国生乳販連ニュース

四国四県の生産者と連合会をつなぐコミュニケーション紙

第13号

発行日/平成19年8月1日

発行所/四国生乳販売農業協同組合連合会

〒760-0023 香川県高松市寿町一丁目3番6号

編集・発行人/菊川 時彦

第7回通常総会報告について

本会は、平成19年7月26日香川県高松市寿町「JAビル」において第7回通常総会を開催いたしました。主催者を代表して和田会長の挨拶の後、中国四国農政局生産経営流通部畜産課の安藤智和指導官、(社)中央酪農会議の内橋政敏事務局次長よりご祝辞を頂いたほか、各県庁畜産課、全農、全酪連からもご臨席いただきました。議長に愛媛県酪農農業協同組合連合会の金光博隆副会長理事を選任し、議案の審議に入りました。

議案は、第1号議案「平成18年度事業報告及び剰余金処分案承認の件」(貸借対照表及び損益計算書は、以下のとおり)、第2号議案「役員を選任の件」、第3号議案「退任理事に対する退職慰労金支給並びに慰労積立金の取り崩しの件」、第4号議案「理事及び監事の報酬に関する件」、附帯決議案の5件で全議案原案どおり可決承認されました。

貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

資 産		負債及び資本	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	1,632,835,522	I 流動負債	1,677,639,528
普通預金	146,139,821	事業未払金	1,385,750,120
定期預金	10,000,000	事業未精算金	46,899,278
事業未収金	1,350,287,425	雑負債	244,151,030
事業未精算金	46,899,278	法人税充当金	839,100
雑資産	83,198,363	II 固定負債	1,458,480
貸倒引当金	△8,400,000	負債の部合計	1,679,098,008
未収消費税	4,710,635	III 資本	30,136,708
II 固定資産	74,199,194	出資金	30,000,000
有形固定資産	74,001,401	回転出資金	0
減価償却累計	△2,674,332	法廷準備金	0
無形固定資産	3,247,500	資本積立金等	0
減価償却累計	△375,375	未処分利益	136,708
III 投資等	2,200,000	(うち利益)	(588,344)
IV 繰延資産	0	資本の部合計	30,136,708
資産の部合計	1,709,234,716	負債資本合計	1,709,234,716

損益計算書

平成18年4月 1日から

平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
I 事業総利益	22,671,174
(事業収益)	(15,089,117,877)
(事業費用)	(15,066,446,703)
事業総利益	22,671,174
II 事業管理費	45,794,689
事業損失	23,123,515
III 事業外収益	311,309,784
IV 事業外費用	286,021,345
経常利益	2,164,924
V 特別利益	0
VI 特別損失	737,480
税引前当期利益	1,427,444
法人税等	839,100
当期利益	588,344
繰越損失金	451,636
未処分利益	136,708

また、役員任期満了に伴う役員改選の結果、代表理事会長に和田健氏、副会長理事に宇佐美忠孝氏を再任しました。また、新理事に手塚孝一氏、合田政光氏、新監事に山下信良氏を選任しました。併せて、19年度生乳受託販売委員は下記のとおりとなっています。

役員名簿

役職	氏名	所属団体
代表理事会長	和田 健	徳島県酪農協 組合長
副会長理事	宇佐美忠孝	愛媛県酪連 会長
理事	手塚 孝一	徳島県酪農協 副組合長
理事	庵原 稔	香川県農協 会長
理事	合田 政光	香川県農協 経営委員
理事	金光 博隆	愛媛県酪連 副会長
理事	尾崎 眞一	全農高知 県本部長
理事	黒岩 英樹	全農高知 副本部長
代表監事	山口 和清	愛媛県酪連 常務理事
監事	山下 信良	徳島県酪農協 副組合長

※役員任期は、21年度末、生乳受託販売委員の任期は、19年度末までとなっています。

生乳受託販売委員名簿

区分	氏名	所属団体
会長	和田 健	四国生乳販連 会長
理事	宇佐美忠孝	四国生乳販連 副会長
	合田 政光	四国生乳販連 理事
	黒岩 英樹	四国生乳販連 理事
徳島県の区域	藤丸 清美	徳島県酪農協 理事
	上田 武志	徳島県酪農協 理事
	原田 正隆	徳島県酪農協 理事
香川県の区域	秋山 博文	香川県農協販売推進協議会議長
	佐々木英樹	香川県農協販売推進協議会委員
	塩田 武志	香川県農協販売推進協議会委員
愛媛県の区域	金光 博隆	愛媛県酪連 副会長
	和気 茂太	愛媛県経営者協議会 会長
	高市 浩之	愛媛県経営者協議会 副会長
高知県の区域	岡本 泰明	高知県酪農連合協議会 会長
	宮本 文弘	高知県酪農連合協議会 副会長
	福田 茂	高知県酪農連合協議会 副会長

酪農全国基礎調査について

昨今の飲用牛乳消費の低迷や飼料価格の高騰による生乳生産費の増加などにより、今後の生乳生産の動向は不透明な状況にあります。

また、WTO・FAT 交渉により国際化が進展すると考えられることから、我が国の酪農の国際競争力の強化を図るため、集送乳の合理化等による流通コスト低減が必要です。

酪農経営が安定した生乳生産を継続するためには安定的かつ安価な飼料の生産等が求められていることから、酪農経営の生産状況や経営動向等を的確に把握し、生乳流通の合理化及び国際化の進展に対応し得る酪農生産構造の実現のための検討が必要です。

このため、全国の酪農経営を対象とした悉皆調査を実施することとなりました。

調査票につきましては、所属農協等より、8月中に配布する予定となっております。

ご面倒をおかけ致しますが、より多くの方からのご回答をお待ちしておりますので、ご協力よろしくお願い致します。



牛乳消費拡大事業について

平成19年度「牛乳に相談だ。」キャンペーンは、5年計画事業の3年目となりました。今年度キャンペーンの核となるのは大きく二つあります。

一つは、今なお歯止めがかからない牛乳消費量の落ち込みを受け、「牛乳を飲む」ことへの気づきを促進する新しいロゴと共に、牛乳の実需を直接的に促すコミュニケーションを展開することにあります。

もう一つは、これまで中高生をひとくくりにターゲット展開してきた各種政策を今年度は量層(よく飲む・普通・あまり飲まない)毎にそれぞれの個人を考慮した展開を行うことです。

2007「牛乳に相談だ。」キャンペーン 6つの基本フレーム 今年度と昨年度の違いは!?

継 続

- ◆中高生にとって、牛乳が「より身近な存在」になるためのコミュニケーション構造を継続する。

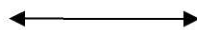
強 化

- ◆母親の立場を従来以上に意識する。
- ◆「実需」を促す施策をより積極的に実施する。

新 機 軸

- ◆「牛乳を飲むこと」への気づきを促進。
- ◆中高生を牛乳を飲む量別に細分化し、それぞれに対して異なるチャネルの選択・開発を進める。
- ◆ターゲットの拡大を目指す。

新しいロゴマークも投入



酪農教育ファームについて

酪農教育ファームとは
酪農や農業、自然環境、自然との共存関係を学ぶことができる牧場や農場。

酪農教育ファームの目的
酪農を通して、心の教育、いのちの教育、食の教育を支援する。

酪農教育ファームの目指す活動

- ①牧場や農場を教育の場として開放し、酪農や農業の持つ多面的機能や公益的役割、環境保全や循環型農業生産について、理解してもらえるように働きかける。
- ②生命産業である酪農の特性を生かし、地域や学校と連携しながら、子どもたちの「心の教育」や「いのちの教育」「食の教育」を支援する。
- ③生乳を生産する酪農家の努力や工夫、自然との共存や家畜や動物の生態、わが国の食生活における牛乳や乳製品の優れた役割など、確かな情報や知識を広めていく。

酪農教育ファームが教育活動に適している理由

酪農は動物と人間が共存し、自然を上手に活用する技術的な特徴を有している。牧場では、周年的な農業生産が行われ、年間を通じた教育活動が可能である。酪農家は、若い担い手や多くの後継者を有し、子どもの教育や地域活動に熱心である。

酪農教育ファーム ロゴマーク決定！！



酪農教育ファーム



平成18年3月に制定された「食育推進基本計画」に伴い、「教育ファーム」という概念が一般化されました。そこで、中央の酪農教育ファーム推進委員会では、酪農教育ファームのロゴマークが制作しました。

制作にあたっては、酪農教育ファームの3つのキーワードとして、循環型農業としての「食」の学び、受け継がれ、つながりの中で生かされているという「いのち」の学び、酪農家と牛との関わりを通じて、相手の気持ちを思いやる「心」の学びをイメージしました。

四国内酪農教育ファーム認証牧場 酪農体験会より

今後さまざまな制作物や看板などに使用していきます。

暑熱対策について

下記のチラシにありますように、計画生産においては、減産体制であります。需要期については、需給逼迫の恐れがあります。

生産者の皆様方におかれましては、例年より需要期・不需要期の生産についてご尽力いただいておりますが、本年度は一層の需給逼迫回避にご協力をよろしくお願い申し上げます。

都府県では「需要期」生産が重要です！

社団法人 中央酪農会議
四国生乳販売農業協同組合連合会

計画生産対策につきましては、ご協力いただき誠にありがとうございます。しかしながら、例年、都府県では6月～11月の「需要期」に生乳が不足します。需要期の生乳出荷量を増やすために、酪農家のみなさんは、懸命に暑熱対策に取り組まれていると思いますが、いま一度、暑熱対策の実施をお願いします。また、飲用向け販売の比率が高まる需要期には、プール乳価がアップします。さらに、季節別格差金も加算されます。減産計画や飼料価格の高騰など、厳しい経営環境のなか、暑熱対策に取り組み、経営の改善に努めましょう。

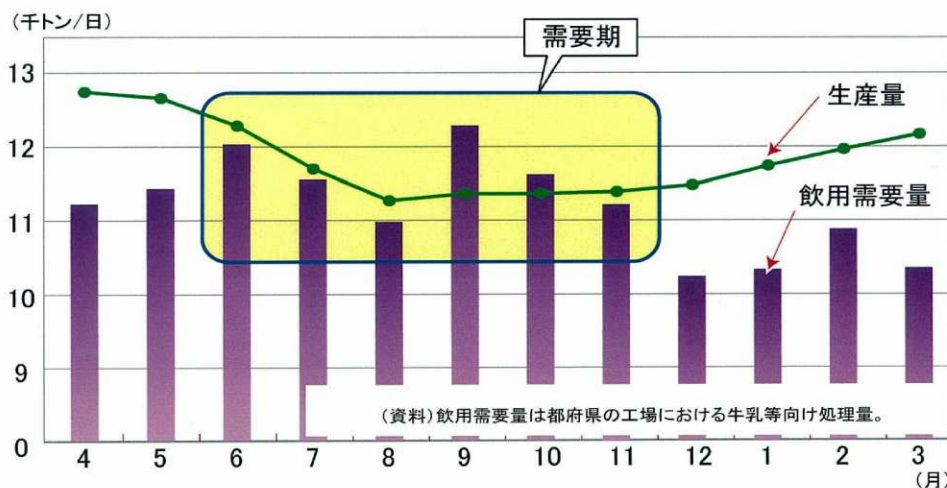
9月と3月の差は15円！

季節別格差金

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
季節別格差	-4.00	-4.00	+0.00	+6.00	+6.00	+6.00	+6.00	+0.00	-4.00	-4.00	-4.00	-4.00
プール乳価	-1.65	+0.00	+2.10	+2.20	+1.30	+2.40	+2.00	+1.60	-1.10	-1.00	+0.40	-2.20

(注)季節別格差については年度終了後、一括処理となっています。
(注)プール乳価は18年度の実績(年度平均との差額)

都府県における18年度の生乳需給



平成19年度会員別生乳受託販売実績

(単位：ト、%)

会 員 名	4月	前年比	5月	前年比	6月	前年比	第1四半期	前年比	6月末 酪農家戸数
徳島県酪農協	4,063	98.3	4,142	98.2	3,859	97.4	12,064	98.0	211戸
香川県農協	3,313	94.1	3,407	94.4	3,155	93.4	9,875	94.0	166戸
愛媛県酪連	4,227	92.6	4,259	93.0	3,904	92.4	12,390	92.7	192戸
全農高知県本部	2,333	93.2	2,325	91.8	2,118	91.2	6,776	92.1	93戸
合 計	13,936	94.7	14,133	94.6	13,036	93.9	41,105	94.4	662戸

平成19年度用途別販売実績

(単位：ト、%)

用 途 別	4月	前年比	5月	前年比	6月	前年比	第1四半期	前年比	平均単価
飲用牛乳向け	11,180	96.6	11,894	96.0	11,566	94.8	34,640	95.8	98.38円
(うち学校向け)	954	96.4	1,449	103.1	1,464	93.3	3,867	97.5	103.80円
醗酵乳等向け	753	94.0	785	92.9	769	92.4	2,307	93.1	76.44円
特定乳製品向け	1,701	83.6	1,161	80.9	410	71.0	3,272	80.8	56.33円
(うち委託加工向け)	0	-	0	-	0	-	0	-	-
生クリーム向け	276	97.3	264	110.2	263	105.1	803	103.8	80.84円
チーズ向け	7	99.5	11	154.5	13	153.2	31	136.4	39.33円
公 共 分	19	99.4	18	96.6	15	99.3	52	98.4	98.64円
総受託乳量	13,936	94.7	14,133	94.6	13,036	93.9	41,105	94.4	93.21円
加 工 比 率	12.2		8.2		3.1		8.0		

(成分加算金除く)

★四国生乳販連ホームページをよろしくおねがいします★

URL: <http://www.dairy.co.jp/shikoku/>

四国生乳販連・行事だより

開催月日 場 所	会 議 名	協議内容・報告事項
19年 6月1日	第3回四国地域酪農 教育ファーム推進委 員会	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度活動報告 ・19年度活動計画 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"></div>
香川県 JA ビル3階会議室		
19年 6月20日	事業推進委員会及び 第56回事業推進専門 部会	<ul style="list-style-type: none"> ・18年度事業報告並びに19年度事業計画 ・19年度計画生産対策と今後の取り組み ・中期計画に基づく乳価及び集送乳平準化、運送契約の締結、乳代精算システムの実施状況 ・生乳の安全安心の確保のための記帳記録の定着化 ・19年度補助事業 <ul style="list-style-type: none"> ①広域生乳流通体制確立事業の取り組み ②経営安定対策事業 ③その他 ・18年度生乳実態調査
香川県県民ホール5階会議室		<ul style="list-style-type: none"> ・生乳検査の現状
19年 7月3日	第29回生乳受託販売 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・農水省通知（暑熱対策の徹底） ・19年度生乳生産動向と計画生産の進捗状況 ・19年度乳価交渉 ・生乳の安全安心の確保のための記帳記録の定着化 ・機能強化「中期計画」に基づく18年度乳価及び集送乳経費の平準化 ・18年度乳価及び集送乳経費等の成果報告 ・広域生乳検査の実施状況 ・全国連、指定団体、会員団体及び単協等の系統手数料概要
サンポートホール高松6階会議室		<ul style="list-style-type: none"> ・18年度酪農関連の各種補助事業実施概況
19年 7月13日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・15回臨時総会の招集並びに付議事項 ・18年度決算監査実施に伴う結果報告 ・19年度乳価交渉 ・19年度生乳生産動向と計画生産の進捗状況 ・広域生乳検査の実施状況 ・生乳受託販売委員の任命 ・農水省通知（暑熱対策の徹底） ・事業推進委員並びに事業推進専門部会委員
サンポートホール高松7階会議室		



四国生乳販連・行事だより

開催月日 場所	会議名	協議内容・報告事項
19年 7月13日	第1回臨時総会	・定款の一部変更 ・監事監査規程の一部変更
サンポートホール高松7階会議室		
19年 7月13日	四国地域安全安心協議会	・安全安心の確保に係る取り組み状況 ・19年度生乳生産管理チェックシート ・19年度検証作業実施スケジュール
サンポートホール高松7階会議室		
19年 7月26日	第7回通常総会	・平成18年度事業報告及び剰余金処分案承認 ・役員を選任 ・退任理事に対する退職慰労金支給並びに慰労積立金の取崩 ・理事及び監事の報酬
香川県 JA ビル 3階会議室		
19年 7月26日	第3回理事会	・代表理事の選任 ・会長、副会長の選任 ・生乳受託販売委員並びに中央酪農会議評議員の補欠選任 ・退任役員慰労金の支出方法等 ・理事の報酬額及び支給方法 ・理事の順位
香川県 JA ビル 3階会議室		
19年 7月26日	第2回監事会	・代表監事の選任 ・監事の報酬額及び支給方法
香川県 JA ビル 3階会議室		

新たに四国の 生乳検査機関として発足



**四国生乳販売農業協同組合連合会
(社) 香川県畜産協会牛乳検査部**



生乳検査の業務内容




クレーンボックスより検体を取り出し検査準備
左パケトスキャン、右コンビファス、検査のため調整中

- 施設の概要**
敷地面積：468.08㎡
床面積：212.53㎡ (検査室専用)
- 検査種類・情報システム整備状況**
平成19年度生乳生産流通強化支援事業で整備 (詳細別添)
- 業務開始**
四国4県の生乳検査開始：平成19年4月1日 (旧業務開始日2014年4月1日)
- 職行体制**
人員：6名
- 業務内容**

区分	主な検査項目	使用機器	検査回数/月	検体数/年	検査成果の活用
取引検査	菌数、菌相、乳糖、乳糖酸、乳糖酸等	コンビファス パケトスキャン	3回 1回	約27,000 約50,000	畜産関係の決定
年別検査	菌数、菌相、乳糖、乳糖酸、乳糖酸等	コンビファス	1回 (総計)	約140,000	乳牛飼育の能力評価
牧場検査	菌数、菌相、乳糖、乳糖酸、乳糖酸等	コンビファス	随時	約7,000	畜舎等々及び乳牛飼育の能力評価
取引検査	菌数、菌相、乳糖、乳糖酸、乳糖酸等	コンビファス パケトスキャン	随時	約1,000	乳牛飼育の能力評価



●検査員パソコン
検査成果の記録、牧場へメール送信
●コンビファス
サンプル情報のバーコード作成



●検査員パソコン
検査成果の記録、牧場へメール送信
●コンビファス
サンプル情報のバーコード作成



●検査員パソコン
パケトスキャン併用して検体ラベル印刷



●検査員パソコン
パケトスキャン併用して検体ラベル印刷



●コンビファス
パケトスキャン併用して検体ラベル印刷



●検査員パソコン
パケトスキャン併用して検体ラベル印刷